



令和6年度 小笠原村立小笠原小学校

学校だより

12月冬休み号

(R6. 12. 25)

TEL 04998-2-2012

校長 西村 浩



子供の人権を大切にする

校長 西村 浩

本日、子供たちは笑顔で2学期の終業式を迎えることができました。保護者、地域の皆様には、いつも温かなご支援とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

2学期が終業するに当たり、私たち大人の人権感覚について考えてみたいと思います。

子供は大人と違って成長段階にあります。特に小学生段階では、「十分な睡眠、十分な栄養、十分な運動、正しい物の見方・考え方、そして深い愛情」がとても必要であり、とても大事です。これらは自分だけで得られるものではなく、大人（家庭）が与え続け、守ることで、大人と子供は同じ人間ですが、子供は未成熟です。今、その子にとって必要なことを十分に与え、守ることが、その子の健やかな成長につながります。ですから、髪の毛を染めたり、アクセサリー（ピアスやブレスレッドなど）を身に着けたりすることよりも必要なことはたくさんあります。小学生は未成熟な分、中身（心）の成長を優先させることが大事で、それが正常な発達を促し、人権を守ることになるのだと考えます。こうしたことから、本校では、アクセサリー（ピアスやブレスレッドなど）を身に着けないように指導しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

学校における人権教育を推進するための基本的な考え方は、教職員一人一人が人権尊重の理念を十分に理解するとともに、人権教育の目標を明確にして組織的・計画的に進めることです。そして、日々の授業や学級経営においては、子供に適切な配慮を行うことです。

本校では、定期的にいじめや体罰、子供の人権など服務について研修をしています。子供の人権については、東京都教育委員会の人権教育プログラムを活用して教員一人一人が人権感覚を定期的に振り返っています。

以下のポイントで人権感覚をチェックします。ご家庭でも、チェックできる項目があるのではないのでしょうか。（人権プログラム：人権感覚 教職員のチェックポイント 一部抜粋）

教師と子供との関わり
的確な児童理解に基づき、一人一人を大切にされた指導を行っているか
登校時に、児童に率先して言葉を掛け、温かく送り迎えをしているか
朝の会等で、児童の心身の健康状況を丁寧に把握しているか
児童が互いの作品等のよさを認め合うことができるような具体的な取組を行っているか
児童のいじめ等による変化を見逃さず、学年や学校全体で情報を共有できるよう報告等をしているか
児童に対し、一方的な思い込みや偏った見方、いわゆる固定的な性別役割分担意識等ではなく、確かな事実や根拠を基に指導しているか
欠席した児童に対し、学校からの連絡内容が確実に伝わるよう配慮しているか
学習で使用する教具や設備を誰もが公平に使えるように配慮しているか
体罰や不適切な行為を未然に防止するために、日常の指導の在り方について相互に点検を行っているか

本日、子供たちは、通知表を持ち帰りました。お子さんが努力したことや成長したことを認め、温かい言葉や励ましの言葉を掛けてあげてください。3学期は、さらに子供のよさや可能性を引き出し、子供たちの笑顔がいっぱいで、本気になって力を発揮できるように、教職員一同、統一感をもって指導してまいります。

今日、ここに2学期が無事終業できましたのも、保護者・地域の皆様の温かなご理解ご協力によるものと深く感謝申し上げます。どうぞ、よい年をお迎えください。そして、3学期もよろしくお願い申し上げます。

【お願い】 現在、保護者の学校評価アンケートの回答率が5割程度です。今年度の教育活動を振り返るとともに、次年度の教育活動に生かすために、ご回答のほどよろしくお願い申し上げます。

まだご回答いただけていない方は、右のQRコードで回答いただくか、本日、設問用紙と回答用紙を配布しましたので、1月8日の始業式にお子様を持たせてください。



R6 学校評価